
希望のひかり

希望の光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

希望のひかり

【Nコード】

N5169E

【作者名】

希望の光

【あらすじ】

希望のひかりをさがして。過去、今、事件、気持ち。

プロローグ

希望のひかり……。挫折と絶望感……。そして希望。

そんな毎日、過去、そのときの私の気持ちを書きたいと思います。
希望のひかりをさがしながら……。

恋愛と仕事、育児。わたしは18歳のときに第1子を出産しました。
親の反対をおしきりまわりの偏見。高校はやめました。妊娠をし、
子供を産むために。ためらいなんてそのときの私にはなかった。別
にそのときの……。のちに旦那になる男なんて別に好きではなかつ
たのかもしれない。

親への反発。自由……。早く大人になりたかったのかもしれない。
とにかく産みたかった。旦那は1つ上……。賛成……。産んでほし
い……。といわれた。

これがこれからの人生……。大きく左右されれるとは幼い私には知
る余地もなかった。

生い立ち

私は3人姉妹の、長女としてこの世に生を享けた。28時間にも及ぶ難産だったらしい・・・うちは両親とも仕事をしていた。母は私を産んだあと産休をとり、それなりに可愛がられていたと思う。ただ母の姉・・・私にとっては叔母。

叔母夫婦には子供がいなかった。というかできなかった。それゆえに、私の誕生を一番喜んだのは叔母夫婦だった。そう、わが子のように・・・私の両親は都合がよかったのだろう。私は叔母夫婦にたびたびあずけられた。母は仕事に復帰した。贅沢だが幼児期の私の思い出はあまり両親にはなかった。ただ子供の私はそんな微妙な立場を、受け入れていた。

そして一番理解できなかったのは、年子で生まれた妹。年子で生まれた妹は、私とは正反対。今思えば、妹は世渡り上手。うちの両親はそんな妹を大切にした。私は叔母夫婦にあずけられたが、妹はあずけられるのがいやだといい、預けられることは緊急時以外なかった。

そして私が生まれて、6年後に2人目の妹が生まれた。

私は孤独を少し感じていた。

人は幼少期の親の愛情がその人の人格さえもかえてしまうのだと、思った。

でも振り向いてほしくて・・・。

よい子の振り・・・でも両親のおもったとおりに勉強はできるほうではなかった。というかぜんぜんできなかった。小学生を経て、中学に入るころ。妹たちとの学力の差はかけはなれていた。

くやしかな妹たちはスポーツにできていた。部活でもつねにトップ。

一報・・・私は・・・鈍い・・・おつとり。

中学にはいると同時に両親との溝はひろがった。

私は上級生とつるむようになったからだ。

わるさをするたびしかられた。

あきれた・・・。。まあそれでもよった。私は楽しかったから。しかられるのさえ鬱陶しかった。

生い立ち（後書き）

そして、両親の体裁とどうか・・・あるらしく、高校だけは卒業してほしいということだ。とりあえず倍率の、低い高校へ進学。一方、若いわたしには、高校なんてという気持ちが強すぎて・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5169e/>

希望のひかり

2010年11月8日09時00分発行